時事新報

東京　明治十七年十一月十三日　木曜日　第八百十二號　日曜日休刊　定價金三錢

時事新報

社告

新聞紙ハ社會ノ耳目ナリ一年三百六十五日社會ハ一日モ其生活ヲ止メズ然ルニ其耳目タル新聞紙ハヤレ日曜日ダヤレ大祭日ダヤレ年始ダ節季ダト何ツノ序ニハ休業シテ懶惰義務ヲ盡サヾルハ甚ダ以テ其意ヲ得ズ果シテ社會ノ耳目トナラバ日曜ナリ祭日ナリトテコレヲ閉塞シ得ベキ理由ナシ依テ以來ハ一年三百六十五日毎日必ズ時事新報ヲ刊行シテ一日ノ休刊ヲモ爲ス事勿レト近頃諸方ヨリ度々ノ勸告ニ從ヒ社員一同爰ニ大ニ奮發シ後來迄テハ一年三百六十五遍時事新報刊行ノ其手始メトシテ今回先ヅ大祭日幷ニ年始歳暮ノ休刊ヲ全ク廢シ祭日デモ元日デモ大晦日デモ一向頓着ナク毎日乾度刊行致シ唯日曜日丈ケ休業スル事ニ相定メ候間左樣御承知被成下度勿論此日曜日ノ休刊モ一所ニ廢止致度ハ山々ノ願望ナレドモ何分今回ハ其運ビニ至リ兼候儀遺憾ニ堪ヘズ候

但シ豫約購讀前金拂ヒ時事新報定價ハ從前ノ通ニ候事

日本ハ東洋國タルベカラズ（一昨日ノ續）

抑テ玆ニ其論旨ノ方位ヲ變シ改メテ諸君ニ問フベキ一事アリ曰ク諸君ハ永ク東洋人タルノ位置ニ居テ未來永遠歐羅巴人ノ爲メニ侵辱ヲ蒙リ其制御ヲ受ケンコトヲ欲スルカ將タ出來ベキ事ナラバ東洋亞細亞ノ境界ヲ脫シテ歐米ノ仲間ニ加入シ以テ未來ノ苦ヲ免カレンコトヲ欲スルカ人或ハ云ハン自由ノ主義漸ク天下ニ行ハレテ四海兄弟萬國同權ノ義將サニ其實効ヲ奏セントシ已ニ彼萬國平和會ノ如キ卽チ此主義ノ形ニ顯ハレタルモノナリ去レバ亞細亞ニ在レバトテ何ゾ濫リニ歐人ノ爲メニ窘メラルヽノ理アラン腕力ヲ以テ理ヲ非ニ曲ゲ兵力ヲ以テ弱キヲ壓スルガ如キハ往古野蠻ノ風習ニシテ第十九世紀ノ今日ニ在テハ復タアルベカラザルノ事ナリト嗚呼コレ何ノ言ゾヤ自由ノ主義天下ニ行ハレザルニアラズ萬國平和會ノ企圖ナキニアラズ學者中往々四海兄弟萬國同權杯ノ說ヲ唱フル者尠ナカラズト雖モ其自由主義ナリ萬國平和會ナリ四海兄弟萬國同權ナリ其行ハルヽ所ハ獨リ歐羅巴內ニ限リテ未ダ其他ニ及バズ英國ノ埃及ニ對シ佛蘭西ノ支那ニ對スル其有樣ヲ以テ果シテ四海兄弟ノ慈愛心ニ出デタルモノト云フベキ乎歐羅巴內ニ在テコソ稍々自由同權ノ說モ行ハルヽニ似タレドモ此歐羅巴ガ一体トナリテ亞非利加ノ蠻民亞細亞ノ惰民ニ對スル時ハ更ニ其痕跡ヲモ觀ルコトナシ固ヨリ歐人ト雖モ悉ク惡人ノミニアラズ一人一個ノ交際ニ於テハ其風采慕フベキノ士君子ニ乏シカラズト雖モ此士君子ナルモノモ其國ノ情實ニ制セラレテ一身ノ私德ヲ恣ニスルヿヲ得ズ東洋ノ弱國ヲ强迫シテ其土地ヲ押領スルハ天理ニ背キ人道ニ反シ天人共ニ容サヾル所ナリト萬々心ニ承知スルヿナレドモ萬國國ヲ建テ獨立ノ体ヲナシテ互ニ其國力ノ强弱ヲ爭フ以上ハ復タ區々タル私德ニ拘泥スベカラザルハ勿論時宜ニ依テハ天理ニモ戾リ人道ニモ背カザルベカラズ佛國ガ東洋ニ向テ其權力ヲ擴張シ頻ニ弱國ヲ征服スルノ狀ヲ視テ英國ハ袖手傍觀之レニ滿足スルヿヲ得ベキ哉四海ハ兄弟萬國ハ同權佛國ノ支那征伐ハ道德ニ於テ許サヾル所ナレバ決シテ悞ムベキ擧動ニアラズト云テ其說ヲ立ツベケレドモ此主義ニ依賴シテ永ク英國ノ權勢ヲ持張スルハ難カルベシ去レバ佛國ガ東洋ニ向テ其國威ヲ擴張スレバ英國モ亦之レヲ擴張セザルヲ得ズ是レ所謂其國ノ情實ナルモノニシテ其間一毫ノ私德ヲ容ルベキ場所ナク縱ヒ善人君子モ此形勢ノ情實ノ爲メニ制縛セラレテ不得止惡行ヲ働クモノナリ故ニ國ト國トノ交際ハ道理ヲ以テ其國家ノ私利私慾ニ依賴スベカラズ之レニ依賴シテ國ノ大計ヲ誤ルベカラズ去レバ吾人ガ亞細亞人ナリ東洋人ナリト自稱シテ亞細亞諸國ト幷行シ支那ハ我隣國ナレバ必ズ共ニ事ヲ爲サヾルベカラズ印度モ亞細亞ノ一部分ナレバ共ニ佐ケテ英人ノ虐政ニ抗セザルベカラズ杯唯亞細亞ト云ヘル名目ニ拘泥シテ未來永遠東洋人タルノ地位ヲ離レザラントスル以上ハ歐人ノ爲メニ窘メラレ歐人ノ爲メニ奴役サルヽハ復タ疑ヲ容レザル所ナリ殷鑑遠カラズ安南東京支那ヲ視テ知ルベシ去レバ東洋亞細亞ノ仲間ニ居テ之レニ滿足スル以上ハ歐人ノ爲メニ窘メラルヽ者ナリト覺悟セザルベカラズ諸君ハ果シテ此覺悟アリ哉假令ヒ歐人ニ窘メラルヽモ亞細亞洲中ニ居レバ復タ如何トモスベカラズト云テ之レニ滿足安心スル哉何故ニ支那ノ如キ惰弱ノ國ト共ニ其國運ヲ連結セザルベカラザルカ歐人ガ支那又ハ日本ヲ以テ亞細亞洲中ノ國ナリトスルガ故ニ自カラモ亦亞細亞洲ノモノナリト是レニ滿足セザルベカラズトノ因緣アリヤ不幸ニシテ亞細亞內ニ國ヲ建テタルガ故ニ生涯亞細亞ノ風ヲ守ラザルベカラズトノ約束アリヤ今若シ我日本ノ土地ト人民トヲ其儘歐羅巴內ニ移シ佛國ノ北部英國ノ東部ニ是レヲ据ヘ付クルノ工夫アリトスルモ諸君ハ尙亞細亞ノ名目ニ戀々シテ是レヲ去ルニ忍ビザルカ我日本國ニ對シテコソ義務アリ哉世ニ謂レナク興亞會ナルモノヲ立テ亞細亞ノ諸國連合シテ是非トモ歐羅巴ニ抗セントナド、企ツル者アリト聞ク何故ニ吾人ハ亞細亞ヲ興起シテ歐羅巴ニ抗セザルベカラザルカ亞細亞全洲ガ倒ルヽモ、壞ルヽモ、崩ルヽモ、潰ルヽモ聊カ我ニ關係ナキ事ナリ我レハ我日本國ノ獨立ヲ維持シテ我日本人ノ幸福ヲ全タスベシ支那帝國ガ佛人ノ爲メニ押領サルヽモ印度ノ土人ガ英人ノ爲メニ奴役サルヽモ我日本サヘコレニ相伴セザレバ決シテ憂フルニ足ルヿナシ無理ニ自カラ卑下シテ我レハ亞細亞ナルガ故ニ亞細亞ノ爲メニ一生涯ヲ棒ニ振ラザルベカラズトノ理屈ハアルベカラズ東京神田橋本町ニ福德屋福助ト云フ豪商アリ其家屋敷ノ結搆ハ誠ニ質素ニシテ外形ヨリ視レバ左程富有トモ思ハレズ去レドモ其實ハ府下屈指ノ金穴ニシテ幾百萬圓ノ金銀ヲ其庫中ニ蓄フルモノトセンカ乍併此橋本町ト云ヘル所ハ誠ニ貧乏人ノミノ居住スル所ナレバ假令其中ニ福助如キ金滿家アルモ他人ノ眼ヲ以テ其町ヲ觀ル時ハ軒ゴトニ皆貧乏人ノミナレバ之レヲ目シテ貧乏町トナシ其實金滿家ノアリ哉ナキ哉ヲ吟味スルニ及バズ一槪ニ是レヲ蔑視スルヿナラン或時此福助ガ金持ノ癖トシテ車ニモ乘ラズ供ヲモ連レズ唯一人粗末ノ衣服ヲ着テ淺草ニ參詣シタルニ或人ガ其道連レトナリテ世話雜談ノ末老人ハ何處ノ人ナルヤト問ヒシニ私ハ神田橋本町ノ者ニテ福德屋福助ト申シ候ト答ヘタランニ其道連レノ人ハ何ト思フベキ哉此人ガ世事ニ明ルク橋本町ニ福德屋福助ナル豪家アリト云フヿヲ承知シタル者ナレバ老人ノ名ヲ聞キテ必ズ俄ニ之レヲ尊敬スルヿナランナレドモ世間普通ノ人物ニテハ其居所ヲ聞キ其衣服外貌ヲ視テ果シテ其貧乏人ナルヿヲ推シテ是レヲ輕蔑スルヿナラン今此老人ノ爲メニ謀ルニ先祖代々橋本町ニ住居シタルガ故ニ一生此貧乏町ニ家ヲ構ヘテ他人ノ輕蔑ヲ被ムルヲ得策トナスカ將タ貧乏人ノ中ニ住居シテハ自ラ己レモ他人ニ貧乏人視サルヽノ憂アレバトテ其居所ヲ他ノ繁華ノ土地ニ移シ以テ其資產相應ノ家內ヲ張ルヲ以テ策ノ得タル者トスルカ先祖ガ貧乏人ノ仲間ニ在テ生涯ヲ送リタルガ故ニ吾モ亦是非トモ其貧乏人ト榮辱ヲ同フセザルベカラズトノ理ハアルベカラズ他人ノ貧乏ナルハ其人ノ不勉强故カ又ハ何カノ不幸ニ由テ然ルモノナレバ吾モ其不勉强ヲ真似テ其不幸ニ陷ラザルベカラズトノ理ハアルベカラズ他ノ輕蔑ヲ免カレテ自家ノ地位ヲ高尙ニセントセバ早ク其貧乏町ヲ去リ他ノ土地ニ移轉シテ資產相應ノ家門ヲ張リ他人ニ其富人タルヲ知ラルヽニ若カズ歐人ガ日本ヲ目シテ亞細亞洲ノ一國ナリト云フニ任シテ自カラモ之レニ安心シ支那モ亞細亞洲中ノ一國ナレバ必ズ一家內ノ如ク其榮辱ヲ共ニセザルベカラズトノ理ハナカルベシ若シモ他ニ「チリエンタル」ヲ去テ歐洲ニ移轉スルノ工夫アレバ斷シテ是レヲ去ルベシ斷シテ歐洲ニ移轉スベシ支那ヤ印度ノ人ニ一毫ノ義理モナク一毛ノ緣故モアラザレバ決シテ隣家ノ懶惰貧乏人ニ遠慮スルニ及バザルヿナリ前ニモ述ベタルガ如ク或人ガ興亞會ナルモノヲ設ケタルハ日本人ノ馬鹿律義ニ出デタルモノニテ自カラ好ンデ其位地ヲ損スルモノト云フベシ余ハ興亞會ニ反シテ脫亞會ノ設立ヲ希望スル者ナリ日本國內ニ居テ其眼界國外ニ及バズ區々タル民政ノ利害ヲ爭ヒ些々タル政權ノ輕重ヲ論ズル人ノ眼ヲ以テ之レヲ視レバ我日本ハ亞細亞第一等ノ獨立帝國ニシテ歐人ノ爲メニ其獨立ヲ害セラレンコトハ實ニ思モ寄ラザルヿナランカモ知ルベカラズト雖モ余輩歐洲中特ニ東洋ニ强名ヲ轟カス英國ニ居テ其國力平均ノ模樣ト外ニ向テ其國威ヲ擴張セザルベカラザル情實アルトヲ實地ニ見聞シ其耳目ヲ以テ顧テ我日本ノ有樣ヲ視ル時ハ惴々トシテ薄氷深淵ノ想ニ堪エズ今日マデ歐洲大國ニ對シテ紛議ノ起ラザリシハ實ニ我日本ノ爲メニ一時ノ天幸ナリト云ハザルヲ得ズ我國民ノ士氣ハ何程內ニ充實スルモ封建武士ノ義勇ハ何程猛キモ歐洲大國ノ全力ト又其新發明ノ武器トニハ中々敵スベカラズ已ニ其敵スベカラザルヲ知テ尙是レニ安心スルハ智者ノ事ニアラズ宜シク豫メ是レガ謀ヲナサヾルベカラザルナリ其謀トハ亞細亞ヲ脫シテ歐羅巴ノ仲間ニ入ルヿナリ

（未完）

電報

○十一月四日龍動發　賊將マーヂーはその兵衆をカルトームの周圍に集めゴルドン將軍に降を乞ふべき旨を迫りたり（按するにゴルドン將軍は先頃既にカルトームの圍を切拔けシエンデー、ベルバー等の諸城を恢復し進んでドンゴラに向ひ英國より派遣したる援兵と連絡を通ずるの勢ある由は過日來各地よりの電報に見えしが今此報を見れば將軍は尙カルトームの圍城中に在りて未だ賊兵の重圍を脫すると能はざるもの＼如しされば若し此報にして誤なくも過日來の諸報は悉く訛傳に屬するものと云はざるを得ず先頃も將軍が賊の爲めに擒にせられたりとの風說ありて其後に至り無事にカルトームに在りとの報あり此度は圍を脫したりとの報ありし後に尙賊の重圍中に在りとの報道あり過日英國議院開場の勅語に埃及事件の報道は甚だ稀にして萬事不分明なりとありしも此等の事あるが爲めならんか後報を得るに非ざれば事の如何を知るに由なし）

○十月三十一日龍動發　日耳曼國會議員の撰擧にては社會

覚勝を制し

○又々雞籠。。。雞籠と占領 にて佛軍は の姿あり 通信局本多 い左の如し

十一 二千餘ノ 時間ニシ 沖合ニテ ルヲ待テ

○佛國軍艦 元十六艘な たりと上海

○佛國の援 一萬の佛兵 地より發し に同地に達 佛國ノ援 防發）

○閩江防禦 央よ一百英 同所に入ら れとの旨を

○黎公使の 先頃本國の よ覬覦の念 て我內地の 宜しく嚴密 を上申に及 布達しゐる ふるよし上

○誤擊餘聞 と同地在留 理衙門ふ上 於ても右は 事に事濟む

○福州敗將 と先頃敗軍 て其罪を評 く二人共 福建巡撫の 務を督辨す 詹事れ職れ

○楊昌濬 來福建よ携 も同氏れ未 くべき命を

○張樹聲